

10代でデビューした作家

入学・進級おめでとうございます。
新しい生活には、沢山の出会いがあります。
新しい仲間や新しい場所との出会い。そして、
もしかしたら、皆さん自身の新たな可能性に
出会えるかもしれません。

文学の世界では、去年の10月に中学生の
鈴木るりかさんが14歳で作家デビューし、文学界の藤井聡太君
と注目を浴びました。

今回は清瀬市の図書館にある10代でデビューした作家とその
デビュー作をいくつか紹介します。



作家名(デビューした年齢)	デビュー作(出版年)
鈴木 るりか(14歳)	さよなら、田中さん(2017年)
河崎 愛美(15歳)	あなたへ(2005年)
乙一(17歳)	夏と花火と私の死体(1996年)
綿矢 りさ(17歳)	インストール(2001年)
羽田 圭介(17歳)	黒冷水(2003年)
青羽 悠(17歳)	星に願いを、そして手を。(2017年)
フランソワーズ・サガン(18歳)	悲しみよこんにちは(1954年)
横溝正史(19歳)	恐ろしき四月馬鹿(1921年)

今回ご紹介した本を読んでみると「この本を10代で
書いたの!？」と驚かされます。
皆さんも一度、手に取ってみてはいかがでしょうか。

Teens Joy

10代のみなさんへのおすすめ図書リスト



No.32 2018.4

清瀬市立図書館

君の悩みに答えよう
青年心理学者と考える10代・
20代のための生きるヒント

日本青年心理学会／企画
福村出版



悩みのない人間はいません。特に
10代、20代の若者は、自分でど
うすればいいのか判らない悩みを
持っているものです。

『本当にやりたいことが、分から
ない』『趣味的生き方はダメ?』
『宗教は必要?』『女子のグループ
行動が面倒』等のさまざまな悩みに
対し、一つ一つアドバイスされてい
ます。さらに、それぞれの悩みが、
詳しく載っている本の紹介もありま
す。

各ページにある一言アドバイスを
読むだけでもためになります。

<下宿図書館 外口>

小学6年生の主人公、田中花実
は想像を超えるピンボー生活をおくり
ながらも、明るく大笑いの毎日を母
親と過ごしています。そして、とて
も健康的な母子家庭に起こる、大事
件や日常の出来事が読みやすく感性
豊かに書かれています。

激安スーパーの半額品や人からの
貰い物、時には拾い物で食いつなぐ
日々。そんな時、貧しい親子と対比
するかのよう裕福なクラスメイト
が登場。それでも暗い話にならず、
笑い、ホロリとさせられ元気がもら
える作品です。

スーパー中学生作家のデビュー
作。読んでいて楽しめます。

<元町こども図書館 笹本>

さよなら、田中さん

鈴木 るりか／著
小学館



あなたは、どんな大人になりたい
ですか?夢はありますか?

この本の主人公は、その答えが分
かりません。幼なじみの二人も、淋
しい大人には、つまらない大人には
なりたくないという思いを抱えてい
ます。三人は悩みながら、時に助け
合い、話をしながら成長していきま
す。そして、三人が出した答え
は・・・。

もしも、今同じような悩みを持っ
ており、答えが出せずにいたら、
この本を開いてみてください。何か
答えが見つかるかもしれません。

<駅前図書館 橋本>

スポットライトをぼくらに

あさの あつこ／著
文藝春秋



色えんぴつでイラスト
12色ではじめる色あそび 好きな
色を探して、色そのものを楽しもう

ふじわら てるえ／著
誠文堂新光社



幼稚園や小学生の時に持っていた
色えんぴつのセット。誰もが、一度
は使ったことがあると思います。

この本ではイラストを楽しむだけ
でなく、色の心理学なども載ってお
り、色そのものを楽しむことができ
ます。

2・3色で描ける簡単でかわいい
イラストから、上達していくと、だ
んだんと色を増やしたり、犬や猫の
可愛いアイコンイラストが描けたり
と、イラストのバリエーションも増
えていきます。

この本を読み、自分の好きな色を
見つけて、新たな気持ちでもう一
度、色えんぴつで絵を描いてみては
いかがでしょうか。

<中央図書館 根岸>